

2019年度 ベストプラクティス企業への労働局長の職場訪問 (2019年11月21日 訪問)

2019年12月13日
静岡労働局

～ 時間外労働削減の参考となる取組を紹介します ～

株式会社 デイシス 様

業種 自動車計器の組込ソフトウェア開発業
所在地 静岡市葵区栄町3-9 朝日生命ビル
代表者 代表取締役社長 新村 敏志 氏
社員数 約300名 (派遣社員約200名含む)



時間外労働の削減のポイント
「**残業時間の見える化**」と
「**残業アラート**」の仕組みを
ご紹介いただきました



谷局長

新村社長

パソコンの勤怠打刻時刻をもとに労働時間を管理
作業場出入口のセキュリティーカードの記録でも労働時間を管理

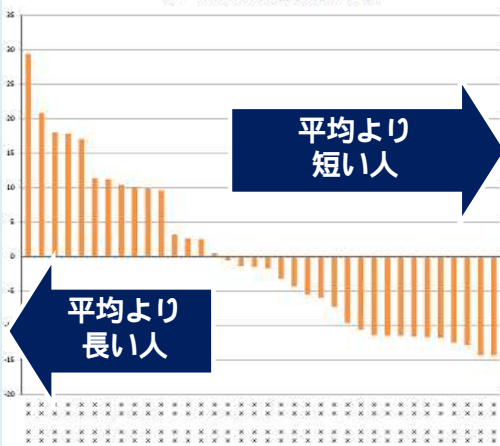


【その他の取組例】

年間122日の所定休日のほかに、
有給休暇取得奨励日を年間12日設定
取得率**80%以上**を達成

Point 1 残業時間の見える化

チーム内 残業時間比較(平均)



平均より
短い人

平均より
長い人

【工夫1】
チーム内の**平均残業時間からのプラス・マイナス**時間で表示
【工夫2】
社員全員が見ることができる

効果

自分の働き方の**気づき**、見直す
きっかけになる
受注に際し**納期の交渉材料**で活用

Point 2 残業アラート

【仕組み】

月の残業が「30時間超」「45時間超」「60時間超」の各段階を超えた社員の情報**メール**を
チームリーダーと社員代表に自動**配信**

チームリーダーは残業が少ない社員に業務を割り振るなど、チーム内で**業務量を平準化**するよう調整

「残業指示はリーダーが行う」との意識づけのため、残業アラートは本人ではなく**チームリーダー**に送付

リンク

【働きやすさの取組の効果を伺いました】

取組を続けることで徐々に社員の意識が変わり、早く帰る雰囲気になった
月平均残業時間：**2年前は40時間前後 昨年度は18時間**に減少

特にソフトウェア業は労働時間が長くなるほど効率が悪化するが、メリハリをつけたことで仕事の効率が上がった

取組を自社のHPでPRすることで、新卒・転職者の応募が増え、人材確保につながっている

明るい雰囲気の
職場を拝見しました

